

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 ことばとあたま、体のリハ室(単位1)

保護者等数(児童数)11名 回収数 11名 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	11				個人にあった活動スペースは確保されている	
	2 職員の配置数や専門性は適切である	8	1		2	職員の数が足りないと言われたため	育休取得のスタッフが安心して休める環境も目指しています。説明に不備があったことをお詫び申し上げます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8				3 個人にあった活動スペースは確保されていると思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10			1		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	10	1			毎回、課題があるので作成されていると思う。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10			1		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10			1		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	9			2		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5			6	交流したという話は聞いたことがない。	今後、検討して参ります
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	10			1		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	10			1		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	8	1		2	家族に対しての課題はないと思う。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10			1	毎回、その日の出来事が写真等で送られてくるのは助かる。活動の様子を知らせてくれるので家庭と連携が取れる	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	8		1	2		適宜、SNSで言語や発達に関する助言指導をさせて頂いています。面談という形式は少ないと思われます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2	1	3	5	コロナで父母会は無理だが今日の様子を伝えてくれるので嬉しい。	コロナ収束後の検討課題です。上記同様、SNSで助言指導をさせて頂くことが少なくありませんが、場を設けて保護者様の横の繋がりも設定出来るよう工夫して参ります。
16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	9	1		1	職員数もあると思うが帰りの送りだけでもしてもらえると助かります。	人員やその日の送迎スケジュールにも影響されるので(即答は難しいことがあります)検討させていただきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	10				1 毎回SNSで来るので助かる。日々の活動を連絡くれるので様子が分かる。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	7	1			3 その日のことはSNSで来るがその他の事は分からない	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	11				はい。	
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	7				4 分からない	訓練状況等をお伝えして参ります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	4				7 分からない	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	8	2			1 嫌がることなくその日の事を教えてくれる。楽しみにして活動の写真を一緒に見て話をしてくれる。通い始めたばかりだがこれからが楽しみです。	子供達は楽しい事が大好きな事は重々承知しています。しかし療育、将来の自立を見据えた場合には、時にあまり好きではない事象への問題解決能力や対応方法を学ぶ事も大切と考えています。そのためあえてそのような機会を設ける場面もあるかと存じます。いわゆる小1プロブレムを鑑みて、様々な経験を蓄積して初めて対応方法を学習できます。ぜひ「大丈夫よ～」と背中をそっと押して送り出して頂けたらと存じます。
	23	事業所の支援に満足している	11				はい。	これからもスタッフ一同研鑽を重ねて参ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。